

## 戸籍の窓

4月16日～5月15日までの届出

### お誕生おめでとうございます

愛 友ちゃん(女) 高瀬 新村 優企・千尋さん  
結 菜ちゃん(女) 大島 平田 友一・詩織さん

### すえながくお幸せに

{ 渡邊 与一さん 上関 (山崎)百合子さん (東京都)

### ごめい福をお祈りいたします

難波くらよさん 93歳 高田  
駒沢 春雄さん 61歳 下関  
山口 清さん 77歳 辰田新  
新野 チカさん 81歳 南赤谷  
横山 トメさん 99歳 上新保  
伊藤 茂勝さん 84歳 小和田

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

## 人の動き

平成21年4月末現在 ( )は前月対比

世帯数 2,071世帯(+3)  
総人口 6,857人(+1)  
男 3,287人(-3)  
女 3,570人(+4)

( 転入 22人 転出 22人 )  
出生 4人 死亡 3人 )

### 編集室から

▶今月号では、新型インフルエンザの特集を掲載しました。毎日のように新聞やテレビで放送され、皆さんも大変心配されていると思います。特集にも掲載していますが、インフルエンザの感染防止は、まず自己防衛が一番です。私も、うがいや手洗いなど、自分で出来ることから習慣づけたいと思います。

▶関川村ホタルの会が、ホタルがたくさん見られるポイントに標柱を設置してくれました。皆さんも足を運んでみてください。(つ)

ササユリは、野生ゆりの中でヒメサユリと人気を二分している花で、ヒメサユリの分布は新潟、山形、福島に対し、ササユリは本州中部から九州に分布しています。分布圏は重なりませんが、南北に長い新潟県は北にヒメサユリ、南にササユリが生息している貴重な地域です。ササユリの名前の由来は、葉が笹に似ているところから付いたものですが、自生地を知っている人は笹の生えているところに多いので、“笹とともに生えるユリ”と感じている人もいます。葉に覆輪斑が入る葉芸品も多く、通年楽しめます。

近年ササユリが減少しているといわれますが、林業の衰退から雑木の伐採が進まず、ササユリの生息環境が狭まったのも一因のようです。

栽培方法 村内の自生地域はヒメサユリですが、ササユリも同じような環境で育ちます。鹿沼土と赤玉を8:2の割合で混合した用土を使用しますが、パーミキュライトとピートモスの同量混合土でもよく育ちます。排水を良くし半日陰で育てます。地植えすると枯れやすいと聞きますが、排水対策として水はけの良い用土を盛り上げて、日陰になる場所でよく植え替えをすれば大丈夫です。富山県はササユリの産地で、私も富山の薬売りから自生の苗をもらったことがあり、大切に育てています。

六聖園(富樫幸子・上関)



## ササユリ



## わが家の人気者

いつき 樹ちゃん(5歳)

みはや 光颯ちゃん(1歳)

平田 浩さん ちひろさん(上野新)



樹は弟思いの優しいお兄ちゃんです。光颯が泣いていると、誰よりも早く駆け寄って、あやしてくれたり、いつも色々な事をして沢山笑わせてくれます。光颯もお兄ちゃんが大好きで、側に居るととても嬉しそうです。早く一緒に遊べるようになるといいね。